

後援会会員

238社(2020年12月1日現在)五十音順

- 進和ラベル印刷(株)
(株)鈴木製作所
(医)須田医院
(株)須藤電機
(医)清水会
セコム(株)山形統轄支社
(株)セゾンファクトリー
(株)セゾン東北
全国農業協同組合連合会山形県本部
(株)そめこや本店
(株)大商金山牧場
(株)ダイバーシティメディア
大和証券(株)山形支店
(株)山形山形支店
高橋一夫公認会計士事務所
(株)高橋型精
高橋畜産食肉(株)
(株)高橋フルワラント
(株)タカハチ電子
宝化成機器(株)
(株)タキザワ
(株)滝の湯ホテル
(株)竹原屋本店
(株)多田農園
(株)田中工務店
(株)タマツ
田宮印刷(株)
(株)丹野
(株)丹野園茶舗
(株)丹野こんにやく
(株)千歳館
(株)千歳建設
千歳不動産(株)
(株)チャンピオン
千代寿虎屋(株)
(株)千代田商事
(株)塚田会計事務所
(株)つたや
(株)ツルヤ商店
(株)テトラス
(株)デンソーFA山形
(株)天童ホテル
(株)天童木工
(株)でん六
東栄コンクリート工業(株)
東京海上日動火災保険(株)山形支店
(南)東北環境総合サービス
東北電化工業(株)
東北電力(株)
東北バイオニア(株)
(株)東北ハム
トーエイ工業(株)
(株)福岡本店
(株)とみひろ
トヨタカーラ山形(株)
(株)トヨタレンタリース山形
内外緑化(株)
(株)ナウエル
(株)永井設計
(南)長門屋
ナブコンシステム(株)山形支店
西東北日野自動車(株)
(株)にしむら
日東ベスト(株)
日本地下水開発(株)
(株)ニータックシンセイ
沼澤歯科医院
ネットワーク山形(株)
(南)ネットワークの里
野川商事(株)
野口鉱油(株)
野村證券(株)山形支店
(株)ハイスタッフ
(株)ハイテックシステム
(株)羽田設計事務所
(株)八文字屋
東日本電信電話(株)山形支店
フアースト興産(株)
(株)フライン
藤庄印刷(株)
富士ゼロックス(株)
フジテック(株)東北支店
布施弥七京染店
平成タクシー(株)
(株)ベガスベガス
(株)保志
(株)ホンカワ
(株)ホテル月の池
(株)本間利雄設計事務所
(株)升川建設
(株)丸九十六屋
(株)マルゼン山形営業所
丸善雄松堂(株)仙台支店
(株)丸後
ミクロン精密(株)
みずほ銀行山形支店
三井住友海上火災保険(株)
(株)南東北クボタ
みよし工業(南)
メイク美創(株)
(南)名月荘
(株)メフオス 北東北事業部山形支店
(株)モス山形
(株)モンテディオ山形
(株)ヤガイ
(南)矢口
八千代交通(株)
(株)山形アドビユーロ
山形いすゞ自動車(株)
農事組合法人山形おきたま産直センター
山形ガス(株)
(株)山形銀行
山形空港ビル(株)
(株)山形ランドホテル
(株)山形県観光物産会館
山形県行政書士会
山形県自動車販売店リサイクルセンター
山形建設(株)
公益社団法人山形県宅地建物取引業協会
山形県民共済生活協同組合
公益社団法人山形交響楽協会
(株)カキヤキ 山形国際ホテル
山形酸素(株)
山形市農業協同組合
(南)山形商美社
山形食品(株)
山形新聞社
山形信用金庫
山形ゼロックス(株)
(南)山形第一不動産
(株)山形テレビ
山形トヨタ自動車(株)
山形農業協同組合
山形バナナソニック(株)
(株)山形ビール商会
(株)山形ビルサービス
(株)山形部品
山形放送(株)
(株)山形丸魚
山形陸運(株)
山形ワシントンホテル(株)
(株)ヤマコー
(株)ヤマコン
(株)ヤママコ
山新観光(株)
(株)山新広告社
(株)山田鶏卵
悠湯の郷ゆき
(南)よしだ
(株)吉田段ボール
恵塾画廊
(株)蘭企画
リコージャパン(株)山形支店
両羽協和(株)
菱機工業(株)仙台支店
(株)旅館古窯
リンベル(株)
(南)レンタルプラザ
和田酒造(株)
渡辺包装(株)

おむすび10号 2020年12月20日発行 発行：東北芸術工科大学後援会 〒990-9530 山形市上杉田3-4-5 TEL: 023-627-2194 WEB: http://kouenkai.tuad.ac.jp/ Mail: kouenkai@aga.tuad.ac.jp 印刷：田宮印刷株式会社

「地域の企業」と「芸工大」をむすぶ



連載：山形の元気！卒業生の仕事④ | 山川まどか さん [ミツバチガーデンカフェ オーナー]
子どもの頃から好きなこと 続けてきたらカフェになった

おむすび

十

特集：ともに若者が住みたくなる「場」をデザインする
シエルホームデザイン×芸工大

ともに若者が住みたくなる

「場」をデザインする

シエルホームデザイン×芸工大

株式会社ホリエ 代表取締役 堀江龍弘さんに聞く

東北芸術工科大学後援会会員の中には、自らが大学と連携して
 できるのがイメージできない、という方もいると思います。

今回取材した株式会社ホリエ（シエルホームデザイン）は、
 大学の主催する講習会に参加し、教員と親交を深め自社のコア事業を強化し、
 さらに学生を採用して、新規事業を展開してきました。

社長の堀江龍弘さんに、芸工大との出会いから今後の連携について、
 お話をお聞きしました。

聞き手：遠藤牧人（地域連携推進課）／写真（j）：株式会社JPD



RE:BAUMにて打ち合わせする堀江社長と本学卒業生社員たち。ここは家具のショールームとシェアハウスのリビングを兼ねている (j)

堀江龍弘 ほりえ・りゅうこう

1984 (S59) 年山形県飯豊町生まれ。MBA(経営学修士)、一級建築士。新潟大学卒業後、積水ハウスを経て株式会社ホリエに入社。高級住宅ブランド、家具事業、ホテル事業、レストラン事業の立ち上げを行い売上成長に寄与。(i)



RE:BAUMの全景。朝夕の通学で地元の高校生が通る駅前通りに面している

芸工大との出会いは
山形エコハウスの講習会

——本日はお忙しい中、ありがとうございます。
 また、本学の卒業生を多数採用していただきまして、ありがとうございます。

堀江社長は本学建築・環境デザイン学科の学
 科長 竹内昌義教授と親交が深く、さまざまな連
 携活動を行っていると聞いております。まずは、

その出会いからお話しいただけますか？

堀江：竹内先生との出会いは2010年の山形
 エコハウスです。当社は20年ほど前から飯豊町
 と国の事業の一環で、高気密高断熱、ペレット
 ボイラー、太陽光発電、風力発電、雪室、井戸
 水利用など、省エネルギーに取り組んできました。
 県内ではかなり早い方だったと思います。

2010年当時、会社では付加断熱、超高気
 密を進めていたので、その技術をレベルアップ
 するために、芸工大で行われていた講習会に参
 加したのです。年間数棟、暖かい家を作ってい
 たのですが、当時はまだ、時代が追いついてい
 ませんでしたね。

——そのあと、大学とのいろいろな交流が始
 まったようですね。
 堀江：そうですね。大学との本格的な交流は、
 2016年に飯豊町が芸工大に委託した公共工
 事、「エコタウン椿」のプロジェクトに、私が地
 元の建設業者として参加したことから始まりま
 した。今の町長、後藤幸平さんになってから、
 置賜農業高校飯豊分校の跡地利用でエコタウン
 を、ということになり、竹内先生が町に招かれ
 ました。

この事業で竹内先生は、町全体の構想・設計
 からモデルハウスの設計まで担当されています
 が、いずれも公共事業として町が別業者に施工
 を発注しています。当社でも現在3棟を建設中
 です。



2019年に芸工大で開催された学生コンペ。対象を全国に拡大して開催した

「一業者として参加した」「エコタウン椿」の開発事業から

——プロジェクトに参加したことで、一気にいろんな交流が始まったそうですね。具体的に聞かせていただけますか？

堀江：町内の住宅会社でも勉強会が開かれ、みんなで竹内先生も関わっている若手梶紫波町のオガールタウン（編集部注：日本初の本格的エコタウン）を見学したり、ワークショップを行ったり：2〜3年前のことです。一連の活動には、竹内先生らとともに芸工大生が関わってくれたのですが、その中から後に入社してくれたのが、今いる5名の卒業生（いずれも建築・環境デザイン学科）のうち1名です。

——お互いにとってなんとも嬉しい出会いでしたね。多くの地元業者が参加したあのプロジェクトで、堀江さんの会社その後4人も芸工大生が入社とは！人材育成に力を入れる堀江さん

「一業者として参加した」「エコタウン椿」の開発事業から

——その価値観は、堀江さんの会社も芸工大も、木造の住宅建築を大切にしているからかもしれないですね。住宅建築に力を入れている大学ってあるんですか？

——そう、今は変わってきた。「地域に残ることはいいことだ」という価値観が浸透してきたと思います。

——その価値観は、堀江さんの会社も芸工大も、木造の住宅建築を大切にしているからかもしれないですね。住宅建築に力を入れている大学ってあるんですか？

——すばらしい行動力ですね！そういう社長だから新入社員もついていくんだと思います。堀江：新潟大学で3回やって恩師が引退されました。ちょうどその頃、エコタウン椿のプロジェクトで竹内先生との関係ができたんです。コンペの話をする、先生は、「東北と新潟限定？」



竹内研究室で制作し報告書に掲載した「エコタウン椿」の完成イメージ



エコタウン椿でシェルホームデザインが受注し設計・施工した住宅。現在、ほかに2棟が完成している。まち全体とモデルハウスの設計は本学の竹内教授が担当した(j)

ならではの接し方があったのでしょうか。

堀江：エコタウン事業の中で先生にご相談した学生コンペが、人材獲得につながったもう一つの理由だと思います。

東北の学生には全国規模のコンペで競う力あり

——確かに、もう一つ特筆すべきは学生コンペですね。全国にはいろんなコンペがありますが、地方の小さな町にある会社が全国規模のコンペを主催するのは、珍しいことではないですか？

堀江：そうですね。この設計コンテストは、4回目となった昨年は、NORTH JAPAN YOUTH DESIGN AWARD 2019として芸工大で開催しました。今年は残念ながら新型コロナウイルスの影響で開催できませんが、来年からはもちろん再開します。自身の学生時代からのいろんな想いが詰まっています。

このコンペの対象は、今でこそ全国の学生に拡大していますが、もとは東北と私の卒業した新潟大学のある新潟県だけが対象でした。私からすると、コンペはハードルが高い。賞を持つていくのは東大、早稲田：そういうイメージで、もともと地元の学生が気軽に出せるコンペがあってもいいのではと。

私は今、30代後半ですが、建築業界に残っている同級生は少ないですね。行くなら大手ゼネ

コン、公務員、という進路です。地域工務店に入る人は少なかった。それを変えたかったので。建築を学んでそれを活かせる仕事は意外と少ないですね。もったいないです。

でも、今は変わってきた。「地域に残ることはいいことだ」という価値観が浸透してきたと思います。

——その価値観は、堀江さんの会社も芸工大も、木造の住宅建築を大切にしているからかもしれないですね。住宅建築に力を入れている大学ってあるんですか？

——その価値観は、堀江さんの会社も芸工大も、木造の住宅建築を大切にしているからかもしれないですね。住宅建築に力を入れている大学ってあるんですか？

——すばらしい行動力ですね！そういう社長だから新入社員もついていくんだと思います。堀江：新潟大学で3回やって恩師が引退されました。ちょうどその頃、エコタウン椿のプロジェクトで竹内先生との関係ができたんです。コンペの話をする、先生は、「東北と新潟限定？」

ならではの接し方があったのでしょうか。

堀江：エコタウン事業の中で先生にご相談した学生コンペが、人材獲得につながったもう一つの理由だと思います。

東北の学生には全国規模のコンペで競う力あり

——確かに、もう一つ特筆すべきは学生コンペですね。全国にはいろんなコンペがありますが、地方の小さな町にある会社が全国規模のコンペを主催するのは、珍しいことではないですか？

堀江：そうですね。この設計コンテストは、4回目となった昨年は、NORTH JAPAN YOUTH DESIGN AWARD 2019として芸工大で開催しました。今年は残念ながら新型コロナウイルスの影響で開催できませんが、来年からはもちろん再開します。自身の学生時代からのいろんな想いが詰まっています。

このコンペの対象は、今でこそ全国の学生に拡大していますが、もとは東北と私の卒業した新潟大学のある新潟県だけが対象でした。私からすると、コンペはハードルが高い。賞を持つていくのは東大、早稲田：そういうイメージで、もともと地元の学生が気軽に出せるコンペがあってもいいのではと。

私は今、30代後半ですが、建築業界に残っている同級生は少ないですね。行くなら大手ゼネ

入社2年目の社員4名に任せたシェアハウスRE:BAUM

——さて、堀江さんが2011年に立ち上げたブランド、Ciel Home Designは建築だけでなく、家具の販売、レストランやホテルの経営と、かなり幅広い事業を展開しているらしいです。インタビュールしているこの建物も、新しい挑戦の一つということですが。

堀江：この多目的な建物は、RE:BAUM（リ・バウム）と言います。会社の敷地の隣にあった、駅前通りに面したタクシー会社の建物をリノベーションしました。値段で勝負ではなく、私はリノベーションで生活パターンを提案したいです。空き家が増える今、リノベーションはデザインで解決すべき社会的課題と言えます。

REはリノベーションのREです。BAUMとはドイツ語で「木」を意味します。年輪をイ



RE:BAUM

1:4人でアイデアを出し合った最初のスケッチ。自由な発想が飛び交った/
2:タクシー会社の社屋を解体。地元のシンボルの回り階段を残した/
3:スケルトンになった建物をリノベーションしていく/
4:完成した部屋の一例。若い社員たちのアイデアが具現化したデザインは、今後の自信につながる(j)

イメージさせるロゴで「歴史を重ねる」意味を表わし、さらに、交流の「場」を「産む」という意味を掛けています。今は打ち合わせスペース、情報発信基地、ショールームなどとして使っていますが、今後は若者のシェアハウスとしても活用



すべく、若い入居者を募集中です。

設計は芸工大卒業生3名を含む4名の現在入社2年目の社員たちに任せました。私自身、父からこの事業を継承して、ブランドを立ち上げる大きな仕事を任せてもらいました。今度は私が同じように若手社員に、「金は出すけど口は出さないよ」と任せたいのです。相談には乗りましたけどね。

「地域にはチャンスがある」とは言うものの、ハンディも多いと思います。リソースの足りないところに来てくれた若者には何かメリットを与えたい。それが、こういうチャンスを与えることだと思っています。任せる人は伸びますね！建物の具体的な紹介は、実際に担当した芸工大の卒業生からしてもらいましょう。

有住和華：私が担当したのは、主に家具、内装インテリアです。ここはセレクト家具の展示場にもなっています。例えば、この変わった形のソファは、奥行きがあるのでお母さんと子供がゆったりくつろげます。サイドテーブルなどと組み合わせると、いろんな使い方ができます。照明や家具配置も部屋の中心を決めないように設計しました。シェアハウスとして使いますから、人との適度な距離が取れるように考えてい



上：奥行きのある多目的ソファを説明する有住和華さん(右)と後輩の野村芹菜さん(j) / 下：外へつながるリビングを説明する金子哲也さん(j)

金子哲也：リビングとそれにつながるアウトドアリビングはこの建物の顔、通学で駅を利用する高校生が前を通ります。中間領域を挟んで室内外がつながることを意識した設計で、リビングが外にあるような感じにしました。そのため、5・5メートル開放できる大型ながら、断熱性の極めて高い特注の引き戸を採用しました。天井はやや低めの2・2メートル、横への空間の広がりを意識しました。

——地元の若者へのPR効果は絶大ですね。こんなふうにして、入社2年目の卒業生が自分たちの仕事を紹介してくれるとは、嬉しい限りです。

芸工大とともに人を育て「かっこいいローカル」をつくりたい

——さて、2021年で90周年を迎える貴社の

4代目として、堀江さんは今まさに事業を拡張しつつあります。今後、貴社と本学はさまざまな場面で連携していけそうな気がします。具体的に考えていることはありますか？

堀江：建築に限らず、地域を良くしていく仕事をさらに進めていきたいです。そのためには若い人たちの地域への定着が必要です。当社の採用に限らず、山形に残ろうという学生が多くなることを希望しています。

私にも子供がいますが、20歳になった時に地元の仕事に選択肢がなければ困ります。仕事がないところに若者は残りません。ですから、若者が残ってくれるような魅力的な場づくりを芸工大と一緒にやっていきたいです。芸工大がやっている地域で人を育てる仕事を、私は会社としてやっていきたいです。

今後は竹内先生と住宅も建ててみたいし、芸術分野の人たちとも関わっていききたいです。卒業生社員の勧めで卒展に行くようになりました。そこで素敵な洋画に出会って、その作者に絵を2点描いてもらい、値札をつけて赤湯のモデルハウスとレストランに展示しています。若い人たちが輝ける場を作っていきたいのです。2021年春には、企画構想学科の卒業生を採用し、経営企画室で働いてもらいます。

芸工大の卒業生はさらっと普通に勉強してきた人と違って、図面を描かせても個性的で伸び伸びしています。そして、「とても優秀だ」と取引先から言われます。そういう卒業生たちがこんなに入ってくれたことが、芸工大と関わった最大の成果です。

私は芸工大と関わって、地域ソースに対する

考え方に影響を受けました。地域を巻き込んで広い分野にわたって影響を与えられる芸工大はかっこいい。芸工大と組んで「かっこいいローカル」をつくっていききたいですね。

——エコタウン椿が完成したら、次はコミュニティデザイン学科とも連携して何かできそうですね。本日は元気をもらえる話をありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

株式会社ホリエ(シエルホームデザイン) <https://www.cielhome.jp/>

編集部では、後援会会員企業と卒業生・在学生の協働した事例を積極的に紹介してまいります。会員の皆様からの情報を心よりお待ちしております。

(株)ホリエの活動および東北芸術工科大学との関わり(太字部分)

- 2010 (H22)
 - 山形エコハウスの講習会に堀江龍弘専務(現社長)が参加する
- 2011 (H23)
 - インテリア事業を開始
 - 「シエルホームデザイン」販売開始
- 2013 (H25)
 - 飯豊町「椿モデルハウス」オープン
 - 屋上庭園のある家を山形県内で初導入
 - デザイナーズ家具通販サイト「Gino」開設
- 2015 (H27)
 - 卒業生の採用(1名)
 - ISO9001「品質マネジメントシステム」認証取得
 - 「シエルホームデザイナー級建築士事務所」に事務所名称変更
 - ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 2014 優秀賞受賞
- 2016 (H28)
 - 芸工大の飯豊町からの受託研究「旧飯豊分校跡地活用基本構想策定業務」および「旧飯豊分校跡地活用整備方針策定業務」に業者として参加
 - ハウス・オブ・ザ・イヤー 2015 優秀賞受賞
 - TOHOKU+N YOUTH DESIGN AWARD 2016 学生設計コンペ主催(以降、毎年開催)
- 2017 (H29)
 - ハウス・オブ・ザ・イヤー 2016 優秀賞、優秀企業賞受賞
 - TDY リモデルスマイル 作品コンテスト 2016 東北ブロック奨励賞 受賞
 - 南陽市「VERITE モデルハウス」オープン
 - 宿泊施設「HOTEL SLOW VILLAGE」開業
 - 南陽市「TERRACE RUBAN Akayu」モデルハウス、レストラン「6 DINING」オープン
 - 「旧飯豊分校跡地活用再生可能エネルギー等活用事業」に業者として参加
- 2018 (H30)
 - 卒業生の採用(1名)
- 2019 (R1)
 - 卒業生の採用(3名)
 - TERRACE RUBAN Akayu と 6 DINING に芸工大卒業生の絵画を展示
 - NORTH JAPAN YOUTH DESIGN AWARD 2019 学生設計コンペを芸工大で開催、募集を全国に拡大
- 2020 (R2)
 - 卒業生の採用(1名)

子どもの頃から好きだった 続けてきたらカフェになった

行列のできるお店の名前は「ミツバチガーデンカフェ」
山形市の蔵王の麓にある、パンケーキが主役のお店です。
オーナーは2010年に現グラフィックデザイン学科
卒業の山川（旧姓 佐藤）まどかさん、
山形の経済界でも活躍中です。

柔らかな秋の午後の日差しのもと、
卒業後の素敵な出会いや
人気店となった現在の話など、
ゆったりと話をお聞きしました。

取材・編集：遠藤牧人（地域連携推進課）
写真：大沼洋美



お菓子作りは子どもの頃から 気がつけば私の仕事に

木戸を開いて庭に入ると、しばし山形市内に在ることを忘れてしまいそうな世界が広がります。目に飛び込むすべての色彩が優しいのです。平日でも行列ができる人気店も今日は定休日、オーナー自ら出迎えてくれました。さっそく庭のことを聞いてみました。

「この敷地は主人の実家の庭でした。義祖父が松を栽培していました。花農家の経験のある主人が、素敵なガーデンに造り変えてくれました。狩猟もするワイルドな主人ですが、バラは優しいピンクが多く、可愛い雰囲気が好きみたいです。今も庭の手入れは主人がやってくれます。」

洋風の庭だけれど、幾何学的ではなくナチュラルな作りです。幸せそうな彼女の言葉から、旦那様との素敵な出

会いがあった。今の彼女があるんだろうな、と直感しました。彼女は、子どもの頃のお菓子作りが始まるストーリーを語り始めました。

「私は3人兄弟の真ん中で、兄と弟がいます。女の子一人だったので、幼い頃から母を手伝い、お菓子を作っていました。私たち兄弟はお菓子が大好きで、たくさん食べるので、「作ったほうが安い」と、母は節約のために作っていたそうです。気がいたらお菓子作りは私の仕事になっていました（笑）。」

卒業制作で作ったのは 笑顔が増えるイチゴのクッキー

「小学校からずっと、友人や家族にお菓子を作って、おいしい笑顔を見るのが好きでした。芸工大のゼミでもみんなに食べてもらい、卒業制作でもお菓子を作ろうということになって、イ

チゴのクッキーを制作しました。ヘタの部分がスマイルのピックになっていて、食べ終えたらお家型のスポンジに刺してもらいます。食べた方にはユニセフ募金をお願いしていたので、クッキーを食べると家族に笑顔が増えることを視覚的に感じてもらえる作品です。自分の好きなことを認めてくれて、あなたがたく見守りご指導してくださった澤口先生（澤口俊輔教授）のおかげです。」

語り口がなんとも楽しげなのが印象的です。一貫して大好きなお菓子作りを取り組んできた山川さん、卒業後の進路はどう考えたんでしょうか？

「ずっとカフェを経営したいと思っていましたから、接客業に就こうと。でも、せっかくグラフィックデザインを勉強してきたのに、それでいいのかなんて。そんな時、当時学科長だった現学長の中山ダイスケ先生から、『君たちはこれから色々な道へ進むけど、商品をどういう場所、どんなふうにつくっていくのか考えるのもデザインだよ。ここで学んだことはどんな仕事にも活かせるんだよ』って。あ、そうか！私にしかできない接客、サービスをデザインしていいやって思いました。」



1：木戸の札がナチュラルな世界の入り口を演出している／2：建物の外観はミツバチの巣をイメージさせる六角形／3：ご主人の作った庭で話を聞かせてくれたオーナーの山川まどかさん／4：庭の雰囲気にも包まれたいお客さんにお勧めな屋外の席／5：庭の片隅にはウサギ小屋があった。この庭の世界にじっくり馴染む



1



4



3



2



5

1:「ホームメイドの最上級」のパンケーキ。お客さんはこれを目当てに/
2:子どもの頃、擦り切れるまで読んだ絵本『しろくまちゃんのほっとけき』。お店の原点がここに/
3:店内にはオーナー拘りの「可愛いポイント」がいっぱい/
4:店内中央にあるオブジェのクローズアップ。見えてくるのは…/
5:店内の白い天井も六角形

**ホテル勤めでの出会い
家ではなくカフェを建てて！**

こうして、山川さんは卒業後、「蔵王四季のホテル」に就職し、フロントとして接客と会計の仕事に。そこで大きな出会いが待っていました。お土産物の納入に来ていた今の旦那さんと出会い、2012年に結婚したのです。

「彼は土産物の卸業の3代目で、納品でホテルに来ていました。結婚してしばらくして、主人から『家を建てようか』って。住める家はあったので、『家はいいからカフェを建てて！』と、お願いしてみたんです。そしたら『僕はガーデンを造りたいからガーデンカフェにしよう！』って。カフェは夫婦二人の理想の形でした。設計士さんに庭に合うカフェを依頼すると、六角形のデザインが。形に驚きましたが、ミツバチの巣（六角形）は自然界の形。ミツバチが何度も巣に戻るように、お客様が何度も足を運びたくなるカフェにしたいという思いと重なり、店名も『ミツバチガーデンカフェ』になりました。」

こうして店舗が形になりました。で、彼女のカフェはパンケーキに特化していますが、パティシエの修業はどこも経験が豊富で、特別な日のお菓子ももちろん大好きです。でも、私は、お母さんがお家で作ってくれていたような、毎日食べられる素朴なお菓子が好きなんです。そう考えるとパンケーキはホームメイドの最上級でした。メニューはほかに、チェリーパイ

で？彼女の答えはこうでした。

「パティシエの修業はしていません。ただ、カフェの経営は人気店の『茶蔵（さくら）』に2年ほど勤め、学びました。自店の準備と同時進行で、業務を覚えるのが精一杯。そんな中、新メニュー開発から六次産業への参加など、日々新しいことに取り組まれている常務（奥様）の姿は刺激的でした。自分の好きな事も上手く仕事に取り入れ、社長（旦那様）とも仲良しなんです。人気店の裏側と、経営者の背中を見させていただきました。2014年、ミツバチガーデンカフェをオープンしました。」

**ホームメイドの最上級に特化！
好きなことに絞って高めていく**

では、彼女は独学でどうやってパンケーキにたどり着いたのでしょうか。とてもシンプルな答えが返ってきました。

「パティシエさんが作る、特別な日のお菓子ももちろん大好きです。でも、私は、お母さんがお家で作ってくれていたような、毎日食べられる素朴なお菓子が好きなんです。そう考えるとパンケーキはホームメイドの最上級でした。メニューはほかに、チェリーパイ

小さい頃からやりたいと決めたことを貫き通して、その先に将来の進路を見つける、そういう才能を持った彼女のような人を活かす豊かな土壌が、芸工大にはあるのだと思います。

山川さん、これからもますますおいしいパンケーキで、お客様を勇気づけてください。ありがとうございます。

ミツバチガーデンカフェ
<https://www.mitsubachigarden.com/>



さて、超人気店となった現在、お店はどんな状況なのでしょう。
「このマグカップはアメリカのオールドパイレックス。値段は張りますが、厚い飲み口が好きなので使っています。スプーンは動物モチーフのもので、『私はうさぎ！私はクマだよ！』みたいに楽しめるポイントを作っています。アイスコーヒーの氷もコーヒー豆の形にしたりとか…。」
「そのちよつとした嬉しい、楽しいポイントが、またあのお店に行きたい

なって思い出してくれるきっかけになればいいなと思っています。自分自身も楽しいですしね（笑）。そのために、東京ビックサイトのギフトショーなんかでいいと思ったものがあれば、主人に仕入れてもらいます。主人の協力はここでも欠かせません。」
店内客席数14席ほどの小さなお店で行列になるお客様を迎えています。スタッフがどのくらいいるのでしょうか。「最初は一人でのんびりやるつもりだったのですが、キッチンも1人用です。今はスタッフが増えて冷蔵庫を開けるにも渋滞！平日は3人、週末は5〜6人で対応しています。隣に開店した和風の『庭園喫茶錦』も合わせると、臨時雇用を含めて15人ほどおられます。正直言って場所も分かりにくく、こんなにはたくさんのお客様に来ていただけるとは思わなかったです。皆さんネットで調べて来てくださる、いい時代になったおかげですね。」

**お客様が「明日も頑張ろう！」
と思ってくれたらカフェ冥利**

さて、現在フル回転中のカフェですが、山川さんには今後、どんな抱負があるのでしょうか。
「現在大きな展望はありませんが、